

365日、積み重ねられた生活習慣 **365日のリアル**

発毛促進ムービーも公開中! 発毛実感の365日

詳しくはこちら

MSN コミュニティ



コミュニティ



コミュニティ ホーム | お気に入りのコミュニティ | 言語 | ヘルプ

**重要なお知らせ**  
 MSN コミュニティ サービスは、2009 年 2 月をもちまして終了させていただきます。MSN のオンライン コミュニティ パートナーである Multiply にコミュニティを移行できます。詳細については、こちらをご覧ください。

www. 文法レベルでの自然学会. jp grammar@groups.msn.com

新着情報 **物理論理学：言語の言語による言語のための言語**  
 掲示板の一覧を表示

今すぐ参加 ◀ 前の話題 次の話題 ▶ ✉ 返信を受信トレイに送信

文法レベルでの自然

物理論理学

宇田雄一語録

パンダ的電腦言語者

Web リンク集

ツール

<b>返信</b>	<b>おすすめ</b>	メッセージ 1 / 53
投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome (元のメッセージ) <span style="float: right;">投稿日時: 2005/05/28 7:43</span>		
宇田の物理論理学は、端的に言うと、言語の言語による言語のための言語、というものに反対する思想です。		

◀ 最初の返信 ◀ 前へ 39-53 通を表示 : 総返信数 53 通 次へ ▶ 最新の返信 ▶

<b>返信</b>	<b>おすすめ</b>	メッセージ 39 / 53
投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome <span style="float: right;">投稿日時: 2008/05/25 14:44</span>		
前件においては、計られる側とは、量子歴史、つまり、起こる(った)事、事象です。		

<b>返信</b>	<b>おすすめ</b>	メッセージ 40 / 53
投稿者:  ダイエットパンダ <span style="float: right;">投稿日時: 2008/05/25 21:56</span>		
<p>こんばんは、パンダです。</p> <p>&gt;①スケールが小さくなると時間や空間自体がモヤモヤして来る、という印象を受け、        &gt;②時間の最小単位という言葉からは、その値を境に突如として状況が変わる、        &gt;という印象を受けます。        私の言いたいことをうまく言っていたいただきありがとうございます。        ①は、まさにそのとおりのことです。        ②については、「突如かわる」というあたりに、新しい文法・述語・概念が必要だと思の        です。</p> <p>なお、最近、計算機の仕事をしている(物理に興味があるが全然専門でない)知人から、下記の内容を又聞きしています。  <b>ループ量子重力入門 重力と量子論を統合する究極理論</b>        竹内薫 / 著)  <a href="http://www.e-hon.ne.jp/bec/SA/Detail?refShinCode=010000000000031567846&amp;Action_id=121&amp;Sza_id=E1">http://www.e-hon.ne.jp/bec/SA/Detail?refShinCode=010000000000031567846&amp;Action_id=121&amp;Sza_id=E1</a>        Wikipedia:ループ量子重力理論  <a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%97%E9%87%8F%E5%AD%90%E9%87%8D%E5%8A%9B">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%97%E9%87%8F%E5%AD%90%E9%87%8D%E5%8A%9B</a></p> <p>なんでも、スピネットから、空間や時間が生まれてくるような理論なのだそうです・・・</p>		

<b>返信</b>	<b>おすすめ</b>	メッセージ 41 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/26 12:08

ダイエットパンダ0さん、  
 リンク先へ行って見て、書籍の概要や Wikipedia の記述を、私はただ今確認しました。  
 「へえ、そういうのがあるんだ」という風に、存在については納得しましたので、  
 (ループ重力という名称は知っていました。)  
 時空の最小単位を言う説についての、そもそも論的な批判は、論調を弱めます。

それにしても、ノードやそれを結ぶ線は如何なる空間内に存する、と考えるのだろうか？  
 その空間は最小単位を持たないのではなからうか？

という風に、そもそも論的な疑問は、まだ持っています。

返信

 おすすめ

メッセージ 42 / 53

投稿者 :  ダイエットパンダ0

投稿日時 : 2008/05/26 22:19

こんばんは、余談ですが、  
 時空の量子化は、以前 SourceCode of HumanGenomeさんが、  
 物理とともにのサイトで既にカキコされてたように思います・・・  
 当時の私には(今もですが)時空の量子化なんぞ想像もつかず、  
 どてらβさんもあまり御興味を示されなかったように記憶しております・・・

返信

 おすすめ

メッセージ 43 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/27 16:13

> こんばんは、余談ですが、  
 > 時空の量子化は、以前 SourceCode of HumanGenomeさんが、  
 > 物理とともにのサイトで既にカキコされてたように思います・・・

見付けましたです。↓

[物理とともに: 重力場は量子化されなければならないか? : メッセージ2](#)

返信

 おすすめ

メッセージ 44 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/30 14:01

初心([メッセージ 8](#)を読み終わった時点)に帰って。

ここまで、ダイエットパンダ0さんのリクエストに直接的に答えている部分がほとんどなかったので、  
 直接的に答えていると見なされるようなメッセージをここで投稿して、  
 それを免罪符として、ここから先、また、  
 直接的には答えていない、と見なされる投稿も、させて頂こうと思います。

もし我々が物理的な時間の存在しないところに住んでいるとしたら、  
 論理学における  $p \Rightarrow q$  と  $q \Rightarrow p$  の区別は、発生しなかったのではなからうか？

「ならば( $\Rightarrow$ )」の概念は、  
 それを使う我々が物理的な時間の存在する所に住んでいるから存立するのではなからうか？

返信

 おすすめ

メッセージ 45 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/30 14:20

エントロピー増大の法則が時間の向きの反転に対して不変ではない事や、  
 多くの物理法則が時間の向きの反転に対して不変である事を、持ち出して、  
 時間の向きについて論じる事が、  
 一般向けの物理学解説書で良く為されます。

私は、物理論理学の見地から、  
 論理学と時間の向きとの関係、という観点を、この議論に付け加える事を、  
 提案します。

クドク成ったら、ごめんなさい。

返信

おすすめ

メッセージ 46 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/30 14:25

普通は、時間の向きというものを物理法則に従属させて考えようと思いますが、時間の向きが物理法則とは独立である可能性、というものは無いのでしょうか？

つまり、既存の物理理法則に加えて、それらとは独立な、時間の向き、という名前の物理法則が存在していて、それがどういう法則なのか、まだ気付かれていない、という事は、無いのでしょうか？

返信

おすすめ

メッセージ 47 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/05/31 8:16

すみません、メッセージ 12 の問題が、放つとらかしに成ってました。考え中です。

返信

おすすめ

メッセージ 48 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/06/04 17:02

言語は物理現象のシミュレータであって、シミュレータはそれを担う物質的構成を必要とする。

したがって、それは、おおよそ、大きな現象を小さな現象に模倣させる、速い現象を遅い現象に模倣させる、あるいは、これらの逆、だと思われる。

極めて実証主義的に言うならば、言語によって現象を記述するとは、こういう事なのではないか。

返信

おすすめ

メッセージ 49 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/06/04 17:08

- > 大きな現象を小さな現象に模倣させる、
- > 速い現象を遅い現象に模倣させる、
- > あるいは、これらの逆、

てことは、大きさや速さのスケールが違う現象の間に、如何なる意味においても正確な相似関係が存在しないならば、言語による記述は破綻する、って事か？

「如何なる意味においても」というのは、相似関係の定義を如何に上手く設定しようとも、という意味です。

返信

おすすめ

メッセージ 50 / 53

投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2008/06/05 20:00

- > 時間進行は、やはりマクロな観点ではじめて認識されるような気がします。

当たってるか外れてるか分かりませんが、  
重要な点ですね。  
当たれば、  
無変化状態でなく平衡状態という言い方がいいですね。

返信

おすすめ

メッセージ 51 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2008/06/07 10:27

私の新文法では、  
時刻 t1 に飯を食い時刻 t2 に風呂に入った、  
という歴史と、  
時刻 t2 に飯を食い時刻 t1 に風呂に入った、という歴史の、  
重ね合わせであるような歴史を、  
表現出来ます。  
このような歴史においては、事象の時間順序が不定と成ります。  
しかし、計る側の時間そのものの順序が不定ということではありません。  
異なる順序の歴史の重ね合わせであるような歴史は、  
t1 と t2 が非常に近いときに現実的な感じがします。

返信

おすすめ

メッセージ 52 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2008/06/24 4:43

> マクロであれ、ミクロであれ、  
> ものごとの振る舞いが落ち着いて平衡状態になったとき、  
> そこに時間的前後の見境いの余地が残っているのでしょうか？

あてずっぽうばかりで申し訳ありませんが、  
その考え方で行くなれば、  
世界が(平衡状態に達する)熱的終焉をむかえる場合には、  
終りに行くにしたがって時間はゆっくり進むようになる、  
という可能性に気がきました。

返信

おすすめ

メッセージ 53 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2008/06/24 5:00

> 時間進行は、  
> やはりマクロな観点ではじめて認識されるような気がします。

物理学には「場の量子論」という分野があって、  
そこでは「微視的因果性」というものが肯定されます。  
これは、  
ミクロな世界にも時間の順序は厳格に存在する、  
という内容です。  
だから、  
ミクロだから時間順序がうやむやになる、  
ということがもしあるとすれば、  
それは、  
場の量子論の適用範囲よりもっとミクロなスケールでの話で、  
と思われる。  
ちなみに、  
場の量子論はミクロの世界に適用可能な理論ですが、  
プランクスケールにまで適用可能かどうかは分かっていません。

◀ [最初の返信](#) ◀ [前へ](#) 39-53 通を表示: 総返信数 53 通 [次へ](#) ▶ [最新の返信](#) ▶

◀◀ [物理論理学に戻る](#) ◀ [前の話題](#) [次の話題](#) ▶ [返信を受信トレイに送信](#)

注意: Microsoft は、このコミュニティの内容について、一切の責任を負いません。ここをクリックすると、詳細情報が表示されます。

家族のインターネット MSN プレミアムウェブサービス

MSN ホーム | Hotmail | ニュース | ショッピング | マネー | スペース

ご意見ご感想 | ヘルプ

©2006 Microsoft Corporation. All rights reserved. [使用条件](#) [プライバシー](#) [迷惑メール対策](#)